

科目名	ダンスⅦ							年度	2026
英語科目名	Dance Ⅶ							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	池田ちほ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ(ジャズダンス)を取り入れる。その後基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。									
【科目の概要】 ジャズダンス、タップダンスを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。									
【到達目標】 1年次で取り組んだクラシックバレエの入門レベルからさらにステップアップした技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを舞台公演のダンスシーンで活かせるようになる。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かす体力の強化の必要性や重要性を認識し、継続してトレーニングをする意欲に繋がることを目標とする。									
【授業の注意点】 多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる	挨拶することができる	挨拶することができない						
到達目標 B	課題内容を理解し踊ることができる	課題を踊ることができる	課題を踊ることができない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い						
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ダンスⅦ			年度	2026
英語表記		Dance Ⅶ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	タップダンス入門	入門ガイド	1	初心者が挑戦する方法	アップ・ストレッチを入念に行う	2
			2	シューズについて	チップなしでも音を刻む	
			3	リズム練習用アイテムについて	右左同じリズムと同じステップを刻む	
2	基本ステップ解説/ TAPをマスター	TIME STEP	1	シングル	頭をSTOMPからSTOMPLEに変化させる	
			2	ダブル		
			3	トリプル		
3	FLAPを習得1	2音のステップ	1	表現力	ゆっくりと動きを確認し、徐々に速さを上げて練習する	
4	FLAPを習得2					
5	STEPを習得1					
6	STEPを習得2					
7	SHUFFLEを覚える1	3音のステップ	1	奥深さを感じる	繰り返し練習し、自分のスタイルを確立する	
8	SHUFFLEを覚える2					
9	RIPPLEを覚える1					
10	RIPPLEを覚える2					
11	TIMESTEPの挑戦1	4音のステップ	1	高度なテクニック	リズム感や基本スキルを鍛える	
12	TIMESTEPの挑戦2					
13	PARADIDDLEの挑戦1					
14	PARADIDDLEの挑戦2					
15	前期試験	まとめ	1	一音～4音の復習	タップダンス本来のリズムの世界を楽しむ	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等